

2025 年 12 月 10 日

## データセンター等の空調開発強化に向け、 米ダイキンアプライド社の試験設備に 1 億 6,300 万ドルを投資

ハイパースケールデータセンターおよび既存空調市場向け次世代冷却技術の開発を加速、2027 年に竣工予定

ダイキン工業株式会社の子会社であるダイキンアプライドアメリカズ社（Daikin Applied Americas、本社：米国ミネソタ州ミネアポリス、以下、DAA 社）は 12 月 9 日（現地時間）に、同社の本社敷地内に最先端の開発試験設備を建設するため 1 億 6,300 万ドルの投資を行うことを発表しました。本投資は、チラーやエアハンドリングユニット、ヒートポンプから、ハイパースケールデータセンターの冷却技術まで、同社の幅広い製品ポートフォリオにおける空調イノベーションをさらに推進するものとなります。

新設される 71,000 平方フィートの試験設備では、すでに 9 つの試験室で段階的な試運転が始まっており、施設全体の完成および稼働開始は 2027 年を予定しています。DAA 社が有する高度な試験能力をさらに拡張するこの試験設備では、現代のハイパースケール環境における過酷な運用条件を再現することができ、データセンター冷却分野の製品開発を強化します。また 4 つの試験室では、新たな市場トレンドと進化する顧客ニーズに対応する次世代の二次側機器技術の開発にも注力します。今回の拡張は、従来の冷却システムやヒートポンプ分野でのさらなる技術革新を加速させます。

DAA 社 COO の西脇 優は、「私たちは空調におけるイノベーションに深くコミットしており、常に可能性の限界へと挑み続けています。この世界水準の試験設備は、そのビジョンを体現するものです。イノベーションは当社のあらゆる活動の中心にあります。この新設備により、現代の環境における劇的な要求の変化に対応するための先進技術を、これまで以上にお客様に提供できるようになります」とコメントしています。



## ハイパースケールデータセンター向けのイノベーションを牽引

AI の普及やクラウドコンピューティングの進展によりデータセンターの増設が急速に進む中、ハイパースケールや AI による負荷を支える冷却ソリューションへの需要は高まり続けています。アナリストによれば、データセンター向け冷却機器市場は 2023 年の 67 億ドルから 2030 年には 166 億ドルへ成長すると見込まれています。今回の投資により、DAA 社は、こうした高密度環境における特殊な冷却要件を満たす技術を、迅速に設計・検証・展開する能力をさらに強化します。

DAA 社データセンターソリューション担当 VP の Greg Jeffers は、「今回の新たな試験設備の着工は、データセンターの未来を形づくるといふ当社の強いコミットメントを示す重要な一歩です。データセンターには包括的な冷却ソリューションが必要であり、この投資は、デジタル社会を支える重要インフラを将来にわたって支える技術開発を加速させるものです」とコメントしています。

## 戦略的投資で DAA 社のデータセンターポートフォリオを強化

今回の投資は、以下の直近の戦略的買収をさらに補完し、データセンター向けソリューションを強化するものです。

- **DDC Solutions 社**：データセンター向けの超高密度冷却キャビネット（サーバーラック単位の個別空調）と管理ソフトウェアの開発
- **Chillydyne 社**：高性能・AI データセンター向け負圧式液体冷却システムのリーダー
- **Alliance Air 社**：カスタム・エアハンドリング機器の設計・製造のリーダー

## 米国での製造および人材育成へのコミットメント

DAA 本社や広域ミネソタ地域での事業拡大は、業界で最も高度な試験エコシステムの構築に向けた同社のコミットメントをさらに強化するものです。同地域は、高度な専門人材が豊富なミネアポリス・セントポール都市圏に近接しており、新設備は次世代冷却技術を担うエンジニア、技術者、クロスファンクションチームの継続的な訓練や育成を支援します。

ダイキングループの一員として、DAA 社のイノベーションはワシントン D.C. の Daikin Sustainability and Innovation Center (DSIC) においても具現化されています。創業から 100 年以上の歴史を持つダイキンは、世界 170 以上の国・地域で事業を展開するグローバルカンパニーへと成長してきました。米国では、2015 年以降で従業員数が 2.3 倍に増加し、現在は 25,000 人以上が在籍しています。

同社の「2025 Business and Innovation Report」では、米国におけるダイキンの事業規模は、25 の製造拠点を中心に総投資額 90 億ドル以上に達し、全 50 州に販売・サービス拠点をもち、国内イノベーションへの長年のコミットメントを維持していることが示されています。

DAA 社は長年にわたり、信頼性、堅牢性、そして効率性において妥協が許されない空調分野のリーダーとして、ソリューションを提供し続けてきました。ダイキングループのグローバルな研究開発力を背景に、当社は業務用およびデータセンター向け空調における次世代イノベーションを牽引する、確固たる地位を築いています。

### **Daikin Applied Americas について**

DAA 社はダイキングループの一員として、多くの顧客向けに先進的な商業用・産業用 HVAC システムを設計・製造しています。同社の技術とサービスは、快適で効率的かつ持続可能な作業・生活空間の創造に重要な役割を果たし、労働者、テナント、建物の所有者に高品質な空気を提供します。DAA 社のソリューションは、専任の販売、サービス、部品拠点のグローバルネットワークを通じて提供されています。

〔お問い合わせ先〕 ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室  
大阪 (06) 6147-9923 / 東京 (03) 3520-3100